

事務事業名		家庭生ごみ分別収集推進事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		環境課		H27係等名	廃棄物対策係		H26係等名	廃棄物対策係		
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理						
目的	対象(誰・何を)	・旧市内JR飯田線東側区域の一般市民						指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	・区域内家庭からの生ごみを堆肥化することにより、再利用する。						対象区域内的の世帯数 (4月1日現在)		2898
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	年間の家庭生ごみ分別収集量(t)			156	173	153	151		
	成果指標	参加町内の世帯数			2862	2898	2854	2848		
	定性目標									
事業概要	旧市内JR飯田線東側地域内の、家庭から排出される生ごみを分別収集する。 1 家庭から排出されるごみの減量化の推進									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1(1) 家庭生ごみ分別収集の実施 ア 家庭生ごみの分別収集運搬委託 イ 分別収集の啓発を図るための、「飯田市堆肥センター」の見学会の実施				1(1)ア 家庭生ごみ分別収集量 イ 見学会実施回数			1(1)ア 173t イ 2回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		13,149	13,541	13,509	13,527	(そ)ごみ処理手数料				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		13,149	11,679	11,987	11,742					
一般財源			1,862	1,522	1,785					
人件費計(千円)②		2,038		2,038						
正規職員所要時間		570		570						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		15,187	13,541	15,547	13,527					
事業内容・目標達成状況の振り返り		家庭生ごみ分別収集量は、前年度と比較して横ばいとなったが、「飯田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」(平成24年度～28年度)における計画値156tを上回っている。								
改革改善の考え方	①問題点	南信州広域連合が建設する次期ごみ中間処理施設の稼働後のごみ処理体制を見据えた事業の見直し								
	②改革提案	目的やコスト、飯田市堆肥センターの受け入れ体制も含め、事業内容の研究・検討を進める。								